

◎ソル・コーテフ注射用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ヒドロコルチゾンコハク酸ナトリウムエステル hydrocortisone sodium succinate 【分類】 水溶性ヒドロコルチゾン製剤

【単位】 ◎100mg/V

【常用量】 1日 50～400mg [緊急時 100～200mg]

【用法】 1～4回静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3) 透析患者の消化管は脆弱であるため注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【特徴】 副腎機能不全の補償作用、抗ショック作用、抗炎症作用、抗アレルギー作用、抗体産生の抑制作用がある。作用時間が長い (数時間)。大量投与の継続でミネラルコルチコイド作用が現れるので注意を要する

【主な副作用・毒性】 ショック、喘息発作誘発、感染症誘発、ミオパシー、骨粗鬆症、消化性潰瘍、血栓症、精神変調、血清電解質異常など

【安全性に関する情報】 高用量の長期 (数日以上) 投与時に高 Na 血症発現のおそれ (1)

【モニターすべき項目】 血糖、尿糖、GTT、成長・発達 (青少年)、視床下部・下垂体・副腎 axis 機能検査、眼科的検査、血清電解質濃度、便潜血

【代謝】 肝で急速に代謝。CYP3A4 で代謝。腎やその他の臓器でも代謝を受ける (U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1% (14) 非活性代謝物として腎から排泄 (U) 尿中回収率 76～96% (1) 【CL】 350～500mL/min で投与量に依存する (10)

【t_{1/2}】 1.24hr (1) エステル体の半減期 5min (1) 1.5～2hr (U) 1.3～1.9hr で投与量に依存する (10) 90 [60～120] min (11)

【蛋白結合率】 very high (U) 75% (1) 75～95% (10) トランスコルチンに 80%、アルブミンに 10%結合 (11)

【Vd】 0.3～0.5L/kg で投与量に依存する (10) 0.4～0.7L/kg (11)

【MW】 484.51 (エステル)

【透析性】 低いと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 有効治療域 50～250ng/mL (14) コルチゾールの血中濃度は変動が大きく、補充量の指標にはならず、TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 高い (11) 資料なし (1)

【併用禁忌】 生ワクチン又は弱毒生ワクチン (1)

【効果持続時間】 1.25～1.5 日 (ステロイドの作用持続時間は臓器内の生物学的半減期に依存する。

【備考】 血管痛・静脈炎の予防のため投与速度は 100mg/分以上かける (1)

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。